

第3次北しりべし定住自立圏共生ビジョン 基本目標・成果指標(KPI) 令和6年度進捗状況(令和5年度実績)

資料5

1 全体の結果

基本目標・成果指標(KPI)の項目数	46
目標達成の数	15
目標未達成の数	31
現時点で評価不可の数	0
達成率(%)	32.6

2 取組分野ごとの結果

医療

基本目標・成果指標(KPI)の項目数	6
目標達成の数	4
目標未達成の数	2
達成率(%)	66.7

広域観光

基本目標・成果指標(KPI)の項目数	5
目標達成の数	0
目標未達成の数	5
達成率(%)	0.0

福祉・安心な暮らし

基本目標・成果指標(KPI)の項目数	2
目標達成の数	2
目標未達成の数	0
達成率(%)	100.0

情報格差の解消へ向けたICT(情報通信技術)インフラの整備

基本目標・成果指標(KPI)の項目数	2
目標達成の数	0
目標未達成の数	2
達成率(%)	0.0

生産者と消費者との連携による地産地消

基本目標・成果指標(KPI)の項目数	2
目標達成の数	0
目標未達成の数	2
達成率(%)	0.0

人材の育成

基本目標・成果指標(KPI)の項目数	2
目標達成の数	0
目標未達成の数	2
達成率(%)	0.0

産業振興

基本目標・成果指標(KPI)の項目数	10
目標達成の数	6
目標未達成の数	4
達成率(%)	60.0

教育

基本目標・成果指標(KPI)の項目数	3
目標達成の数	0
目標未達成の数	3
達成率(%)	0.0

地域公共交通

基本目標・成果指標(KPI)の項目数	6
目標達成の数	1
目標未達成の数	5
達成率(%)	16.7

道路等の交通インフラの整備

基本目標・成果指標(KPI)の項目数	2
目標達成の数	0
目標未達成の数	2
達成率(%)	0.0

圏域内外の住民との交流及び移住

基本目標・成果指標(KPI)の項目数	4
目標達成の数	2
目標未達成の数	2
達成率(%)	50.0

圏域内市町村職員間における情報交換や意見交換の場の積極的活用

基本目標・成果指標(KPI)の項目数	2
目標達成の数	0
目標未達成の数	2
達成率(%)	0.0

取組項目	指標項目	第3次ビジョン			進捗状況					達成状況 達成：○ 未達成：×	資料	第4次ビジョン			目標値設定の考え方 (現状維持以外)
		現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)	目標値 設定基準	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度			現状値 (R5年度)	目標値 (R11年度)	目標値 設定基準	
1 生活機能の強化に係る政策の分野															
(1) 医療															
	圏域内人口10万人当たりの病院・一般診療所の施設数[か所]	88.19 (H31年)	88.19	現状維持	87.71 (R2年)	86.48 (R3年)	87.4 (R4年)	87.48 (R5年)	87.52 (R6年)	×	・住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(総務省) ・道内医療機関名簿(北海道)	87.52 (R6年)	87.52	現状維持	
	圏域内人口10万人当たりの病院・一般診療所の病床数[床]	2,490.0 (H31年)	2,490.0	現状維持	2,517.7 (R2年)	2,484.3 (R3年)	2,488.6 (R4年)	2,524.3 (R5年)	2,527.4 (R6年)	○	・住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(総務省) ・道内医療機関名簿(北海道)	2,527.4 (R6年)	2,527.4	現状維持	
① 地域の実態に見合った初期救急医療体制を確保する。															
	初期救急医療体制を構成する医療機関での応需日数[日]	365	365	現状維持	366	365	365	365	366	○	小樽市保健所調べ	366	365	現状維持	
② 小児科及び周産期医療体制を確保する。															
	地域周産期母子医療センター(北海道社会事業協会小樽病院)の分娩取扱い	分娩取扱再開	分娩取扱継続	現状維持	分娩取扱継続	分娩取扱継続	分娩取扱継続	分娩取扱継続	分娩取扱継続	○	小樽市保健所調べ	分娩取扱継続	分娩取扱継続	現状維持	
	小児科救急医療の応需日数[日]	365	365	現状維持	366	365	365	365	366	○	小樽市保健所調べ	366	365	現状維持	
③ 圏域内の公立病院と公的病院を中心とした各医療機関との連携及びネットワーク化を促進する。															
	圏域内の公立病院と連携する医療機関数[か所]	94	94	現状維持	91	92	90	89	87	×	小樽市立病院調べ	87	87	現状維持	
(2) 産業振興															
	圏域内の収穫量(水稲・野菜類)[トン]	11,417 (H29年)	11,417	現状維持	11,267 (H30年)	12,138 (R1年)	12,167 (R2年)	10,705 (R3年)	10,439 (R4年)	×	作物統計調査(農林水産省)	10,439 (R4年)	10,439	現状維持	
	圏域内の農業産出額(推計額)[百万円]	10,430 (H29年)	10,430	現状維持	10,220 (H30年)	11,210 (R1年)	11,940 (R2年)	11,860 (R3年)	12,750 (R4年)	○	市町村別農業算出額(推計)(農林水産省)	12,750 (R4年)	12,750	現状維持	
	圏域内の水産物漁獲高(数量)[トン]	18,020 (H29年)	18,020	現状維持	21,832 (H30年)	23,889 (R1年)	29,616 (R2年)	28,826 (R3年)	30,091 (R4年)	○	北海道水産現勢(北海道)	30,091 (R4年)	30,091	現状維持	
	圏域内の水産物漁獲高(金額)[百万円]	7,615 (H29年)	7,615	現状維持	7,236 (H30年)	6,911 (R1年)	6,186 (R2年)	6,284 (R3年)	7,681 (R4年)	○	北海道水産現勢(北海道)	7,681 (R4年)	7,681	現状維持	
	圏域内の製造品出荷額等[百万円]	196,789 (H29年)	196,789	現状維持	197,322 (H30年)	193,255 (R1年)	188,483 (R2年)	224,089 (R3年)	241,046 (R4年)	○	経済構造実態調査(総務省)	241,046 (R4年)	241,046	現状維持	
① 地元農水産物及び特産品に関する情報を相互に提供し合い、これらを活用した地域ブランドの開発を進めるとともに、関係団体等と連携し、国内外に向けて地元農水産物及び特産品の販売戦略を展開する。															
	展示商談会等における商談件数[件]	410	470	増加	733	424	532	678	285	×	小樽産品販路拡大強化支援事業実績(R3まで稼ぐ力向上実践事業)	285	610	増加	各年ばらつきが大きい為、5年間の平均をとり(530)、それに第3次ビジョンの目標値の増加率をかけて、端数を切り上げ。
	海外展示会等参加企業数[社]	5	7	増加	4	4	4	7	9	○	海外販路拡大支援事業実績	9	13	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。
	小樽物産展主催件数[件]	1	1	現状維持	1	1	1	1	1	○	小樽ブランド販路拡大推進事業実績	1	1	現状維持	
② 若者の雇用支援、起業の促進に向けた支援を推進する。															
	圏域内における高校生の圏域内就職割合[%]	42.9	45.0	増加	38.7	35.6	43.1	32.1	38.0	×	新規学校卒業者の職業紹介状況(小樽公共職業安定所)	38.0	40.0	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。
	圏域内における新規起業数[件]	62	80	増加	40	52	65	42	53	×	圏域市町村調べ	53	70	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。

取組項目	指標項目	第3次ビジョン			進捗状況					達成状況 達成:○ 未達成:×	資料	第4次ビジョン			目標値設定の考え方 (現状維持以外)	
		現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)	目標値 設定基準	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度			現状値 (R5年度)	目標値 (R11年度)	目標値 設定基準		
(3) 広域観光	圏域内の観光入込客数[千人]	11,364.5	13,000.0	増加	10,725.2	4,617.4	4,527.5	6,787.1	11,082.3	×	北海道観光入込客数調査報告書(北海道)	11,082.3	12,700.0	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。	
	圏域内の宿泊客数[千人]	1,082.8	1,200.0	増加	1,030.0	397.8	472.8	816.6	1,081.2	×	北海道観光入込客数調査報告書(北海道)	1,081.2	1,200.0	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。	
	① 圏域内での周遊性を高め、滞在時間の延長を図る。															
	(再掲) 圏域内の観光入込客数[千人]	11,364.5	13,000.0	増加	10,725.2	4,617.4	4,527.5	6,787.1	11,082.3	×	北海道観光入込客数調査報告書(北海道)	11,082.3	12,700.0	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。	
	(再掲) 圏域内の宿泊客数[千人]	1,082.8	1,200.0	増加	1,030.0	397.8	472.8	816.6	1,081.2	×	北海道観光入込客数調査報告書(北海道)	1,081.2	1,200.0	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。	
	② 道内外及び東アジア圏を始めとした諸外国に向けた観光PR戦略を展開する。															
	圏域内の外国人宿泊客数[人]	320,357	500,000	増加	276,492	1,088	1,822	69,465	214,545	×	北海道観光入込客数調査報告書(北海道)	214,545	334,900	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。	
	(4) 教育	文化・スポーツ交流促進事業参加者及び文化財、史跡等来場者の数[人]	128,291	128,291	現状維持	128,176	58,222	56,011	123,544	118,935	×	・文化・スポーツ交流促進事業実績 ・文化財、史跡等保全・活用事業実績	118,935	118,935	現状維持	
		① 社会教育施設などの公共施設の共同利用を推進する。														
		文化・スポーツ交流促進事業参加者数[人]	2,110	2,110	現状維持	2,030	345	465	1,756	1,919	×	文化・スポーツ交流促進事業実績	1,919	1,919	現状維持	
② 圏域内の文化財、史跡など、多様な文化遺産を保護し、その利活用を図る。																
圏域内の文化財・史跡等の来場者数[人]		126,181	126,181	現状維持	126,146	57,877	55,546	121,788	117,016	×	文化財、史跡等保全・活用事業実績	117,016	117,016	現状維持		
(5) 福祉・安心な暮らし																
	成年後見センター・消費者センターの共同利用の維持継続	継続	継続	現状維持	継続	継続	継続	継続	継続	○		継続	継続	現状維持		
	① 成年後見センター、消費者センター等の共同利用を推進するとともに、福祉を始めとした住民生活に関する各種相談などに対応するため、関係団体などと連携し、圏域内の住民が安心して暮らせるための地域づくりの推進を図る。															
	(再掲) 成年後見センター・消費者センターの共同利用の維持継続	継続	継続	現状維持	継続	継続	継続	継続	継続	○		継続	継続	現状維持		

取組項目	指標項目	第3次ビジョン			進捗状況					達成状況 達成:○ 未達成:×	資料	第4次ビジョン			目標値設定の考え方 (現状維持以外)
		現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)	目標値 設定基準	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度			現状値 (R5年度)	目標値 (R11年度)	目標値 設定基準	
2 結びつきやネットワークの強化に係る政策の分野															
(1) 地域公共交通															
	広域的なバス路線の路線数(積丹線・余市線・ニキバス・むらバス)[路線]	4	4	現状維持	4	4	4	4	4	○	圏域市町村調べ	4	4	現状維持	
	広域的なバス路線(積丹線・余市線・ニキバス・むらバス)の年間運行回数[回]	35,185	34,339	現状維持 (銀山線→ニキバスによる減)	31,713	28,613	28,272	27,965	25,249	×	圏域市町村調べ	25,249	25,249	現状維持	
	圏域内の各JR駅における乗降客数(公表されている駅のみ)[人／日]	32,922 (H29年度)	34,000	増加	32,962 (H30年度)	31,894 (R1年度)	18,998 (R2年度)	19,410 (R3年度)	24,876 (R4年度)	×	国土数値情報(国土交通省)	24,876 (R4年度)	26,000	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。
① 圏域内の公共交通の利用の促進を図る。															
	積丹線・ニキバス・むらバスの年間輸送人員(各路線合計)[人]	292,193	290,379	現状維持 (銀山線→ニキバスによる減)	286,901	191,570	195,485	152,622	176,076	×	圏域市町村調べ	176,076	176,076	現状維持	
	(再掲)圏域内の各JR駅における乗降客数(公表されている駅のみ)[人／日]	32,922 (H29年度)	34,000	増加	32,962 (H30年度)	31,894 (R1年度)	18,998 (R2年度)	19,410 (R3年度)	24,876 (R4年度)	×	国土数値情報(国土交通省)	24,876 (R4年度)	26,000	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。
② 多様な交通手段の組合せにより、地域の生活環境や観光客の利便性などを確保する。															
	各市町村におけるコミュニティバスの年間輸送人員(積丹町・古平町分の合計)[人]	22,525	22,525	現状維持	19,499	17,760	16,650	15,393	14,254	×	圏域市町村調べ	14,254	14,254	現状維持	
(2) 情報格差の解消へ向けたICT(情報通信技術)インフラの整備															
	小樽後志地域医療連携システム(ID-Link)に登録している圏域内の医療機関数[か所]	13	13	現状維持	13	13	13	13	12	×	小樽市立病院調べ	12	12	現状維持	
① 高度医療を担う医科系大学病院と二次医療機関及び一次医療機関とのICTネットワークの構築・充実を図る。															
	(再掲)小樽後志地域医療連携システム(ID-Link)に登録している圏域内の医療機関数[か所]	13	13	現状維持	13	13	13	13	12	×	小樽市立病院調べ	12	12	現状維持	

取組項目	指標項目	第3次ビジョン			進捗状況					達成状況 達成：○ 未達成：×	資料	第4次ビジョン			目標値設定の考え方 (現状維持以外)
		現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)	目標値 設定基準	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度			現状値 (R5年度)	目標値 (R11年度)	目標値 設定基準	
(3) 道路等の交通インフラの整備															
	圏域内の高速道路や国道、道道の整備促進	・後志自動車道(余市～小樽間)の完成(平成30年度) ・国道5号忍路防災・フゴッベトンネルの完成 ・小樽JCTフルジャンクション化事業許可 ・倶知安余市道路着工	・後志自動車道小樽JCTフルジャンクション化の完成(令和5年度予定) ・国道5号塩谷防災の整備促進 ・その他、圏域内の国道の安全対策・道道の新設等に係る整備促進、など	整備促進	後志自動車道(小樽JCTフルジャンクション化)着工	国道5号塩谷防災開通	後志自動車道「蘭越～倶知安」計画段階評価審議開始	特筆すべき実績なし	一般国道5号 蘭越倶知安道路「ニセコ～倶知安」新規事業化	×	圏域市町村調べ	・後志自動車道小樽JCTフルジャンクション化着工(令和1年度) ・一般国道5号 倶知安余市道路(共和～余市間)工事中。うち、仁木IC～余市IC開通(令和6年度予定) ・国道5号塩谷防災開通(令和2年度)	・後志自動車道小樽JCTフルジャンクション化の完成(令和9年度予定) ・一般国道5号 倶知安余市道路の整備促進(仁木南IC～仁木ICの開通(時期未定)) ・その他、圏域内の国道の安全対策・道道の新設等に係る整備促進、など	整備促進	高速道路の進捗に合わせ設定
① 駅や港、高速道路、国道などの基幹交通と連結する道路網の形成に向けた取組を推進する。															
	札幌自動車道の通行量[台／日]	52,558	54,000	増加	51,792	42,858	44,575	48,923	50,974	×	東日本高速道路㈱公表資料	50,974	53,000	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。
(4) 生産者と消費者との連携による地産地消															
	地元農水産物の魅力発信等を目的としたイベントの来場者数(圏域内合計)[人]	42,800 (H29年度)	50,000	増加	36,000	3,741	0	0	24,200	×	地元農水産物魅力度アップ事業実績	24,200	50,000	増加	コロナ禍の影響を考慮し、目標値は据え置き。
① 地元農水産物を安心して消費できる体制を整え、新鮮さ、おいしさ及び安全性をPRする。															
	(再掲)地元農水産物の魅力発信等を目的としたイベントの来場者数(圏域内合計)[人]	42,800 (H29年度)	50,000	増加	36,000	3,741	0	0	24,200	×	地元農水産物魅力度アップ事業実績	24,200	50,000	増加	コロナ禍の影響を考慮し、目標値は据え置き。

取組項目	指標項目	第3次ビジョン			進捗状況					達成状況 達成：○ 未達成：×	資料	第4次ビジョン			目標値設定の考え方 (現状維持以外)			
		現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)	目標値 設定基準	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度			現状値 (R5年度)	目標値 (R11年度)	目標値 設定基準				
⑤ 圏域内外の住民との交流及び移住																		
	圏域内人口の社会増減数(転入－転出)[人]	△1,202 (H30年)	△1,130	回復	△ 920	△ 744	△ 694	△ 313	△ 92 (R5年)	○	住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(総務省)	△ 92	0.0	回復	5年間の回復率をかけ、端数切り上げ。			
	(再掲)圏域内の観光入込客数[千人]	11,364.5	13,000.0	増加	10,725.2	4,617.4	4,527.5	6,787.1	11,082.3	×	北海道観光入込客数調査報告書(北海道)	11,082.3	12,700.0	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。			
	① 首都圏を中心に圏域における暮らしの情報を発信するとともに、居住や長期滞在などの希望に対応できる体制をつくる。																	
	圏域各市町村移住担当窓口への移住相談者のうち把握した移住者数[人]	34	60	増加	47	39	38	44	72	○	圏域市町村調べ	72	130	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。			
	② 圏域内の各市町村が持つ行政情報等を共有し、住民に積極的に提供する仕組みをつくる。																	
	圏域各市町村における圏域情報提供箇所数(か所)	4	6	増加	4	4	3	3	3	×	圏域市町村調べ	3	6	増加	各市町村1か所ずつ。			
	3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策の分野																	
① 人材の育成																		
	中心市が実施する各種講座やセミナー等の地域人材育成事業への参加者数[人]	178	200	増加	55	35	13	44	41	×	地域人材育成事業実績	41	50	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。			
	① 圏域全体の事業の円滑化を図るため、人材を育成するとともに、専門的知識や広い見識を有する人材を確保する。																	
	(再掲)中心市が実施する各種講座やセミナー等の地域人材育成事業への参加者数[人]	178	200	増加	55	35	13	44	41	×	地域人材育成事業実績	41	50	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。			
② 圏域内市町村職員間における情報交換や意見交換の場の積極的活用																		
	圏域内の行政課題解決に向けた意見交換・協議等に係る会議の設置数[件]	15	20	増加	15	15	15	15	15	×	中心市調べ	15	20	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。			
	① 職員間の情報交換や意見交換の場を積極的に設け活用する。																	
	(再掲)圏域内の行政課題解決に向けた意見交換・協議等に係る会議の設置数[件]	15	20	増加	15	15	15	15	15	×	中心市調べ	15	20	増加	第3次ビジョンの目標値の増加率を現状値(R5)にかけて、端数を切り上げ。			